

事務事業評価表

1. 基本事項

作成日 令和06年06月21日(金)

事務事業		中小企業融資あっせん事業		担当課	商工振興課	担当係	商工振興係	管理番号	37121	
総合計画	大項目	3	活力とにぎわいにあふれるまち	事業区分	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務 <input type="checkbox"/> 法定受託事務					
	中項目	2	雇用とにぎわいを生み出すまちづくり	根拠法令 個別計画等	深谷市中小企業緊急運転資金貸付要綱、深谷市中小企業近代化経営資金融資要綱、深谷市小口融資あっせん規則、深谷市小口融資制度関西奨励金交付要綱、深谷市小口資金保証制度特別枠要綱					
	小項目	1	商工業の振興							
	主要プロジェクト									
事業概要		市内中小企業の経営安定化を図ることを目的に、市内金融機関に対し預託し、預託金の7倍の金額の範囲内で、融資限度額2,000万円、返済期間1年～12年以内の融資のあっせんを行う。令和2年度は新型コロナウイルス感染症の影響に対応するため小口資金特別枠（渋沢まごころ資金）を実施し、令和3年度からはその利子補給を開始している。								
目的 ※何のために		市内中小企業の経営安定化を図るため								
対象 ※誰・何を対象に		市内中小企業者								
手段 ※どのように		低利率での融資あっせんを行う（預託金額7倍の範囲内、融資限度2,000万円）								
成果 ※何を求めるか		市内中小企業の緊急的な資金需要に対応することができる								
執行体制		<input checked="" type="checkbox"/> 職員 <input type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 全部委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 市民ボランティア <input type="checkbox"/> NPO等 <input checked="" type="checkbox"/> その他（市内金融機関）								
事務事業を構成する 予算事業		区分	款		項		目		細事業名	前年度決算額（円）
		一般会計	7	商工費	1	商工費	2	商工業振興費	中小企業融資あっせん事業	48,989,940
本事業の 主な業務		・ 制度融資の周知PR					・ 代位弁済による損失補償金の支出			
		・ 制度融資預託金の支出					・			
		・ 制度融資預託金の回収					・			
		・ 制度融資あっせん事務					・			
		・ 完済奨励金の申請受付					・			
		・ 完済奨励金の交付					・			

2. 事業費（投入コスト）

単位：円

区分		令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
年度別計画		融資あっせん	融資あっせん	融資あっせん			
事業費	予算（現額）	78,263,000	70,688,000	54,977,000	51,578,000		
	決算額	55,022,087	48,989,940	0	0		
	財源内訳	国支出金	0	0	0		
		県支出金	0	0	0		
		地方債	0	0	0		
		他特定財源	51,632,000	45,558,000	50,967,000	48,758,000	
	一般財源	3,390,087	3,431,940	4,010,000	2,820,000		
人件費	従事職員数（人）	0.52	0.52	0.52	0.52		
	人件費相当試算※	4,092,170.00	4,165,286.00	4,347,668.00	4,347,668.00		
総事業費試算		59,114,257	53,155,226	59,324,668	55,925,668		

※ 人件費相当額試算は、従事職員数に平均人件費を用いて試算したものです。

3. 評価指標

区分	指標名	目標値	単位	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度
		実績値							
	目標値の算定根拠/実績値の出所								
実績値の算出式									
活動指標 1	提携金融機関数	目標値	%	100.00	100.00				
		実績値		100.00	100.00				
	目標値の算定根拠/実績値の出所			提携可能な市内金融機関（現在 13 機関）すべて / 当該年度末日実績					
	実績値の算出式								
成果指標 1	公的な融資制度のうち市の融資制度を活用した企業の割合	目標値	%						
		実績値		0.70	2.46				
	目標値の算定根拠/実績値の出所			深谷市の融資あっせん事業は、国県を含めた上での最後のセーフティネットとの位置づけ / 市の融資制度活用件数／公的な融資					
	実績値の算出式								
成果指標 2	預託金額	目標値	千円						
		実績値		51,632.00	45,558.00				
	目標値の算定根拠/実績値の出所			深谷市の融資あっせん事業は、国県を含めた上での最後のセーフティネットとの位置づけ / 当該年度末日実績					
	実績値の算出式								
		目標値							
		実績値							
	目標値の算定根拠/実績値の出所								
	実績値の算出式								
		目標値							
		実績値							
	目標値の算定根拠/実績値の出所								
	実績値の算出式								
		目標値							
		実績値							
	目標値の算定根拠/実績値の出所								
	実績値の算出式								

4. 観点別評価

観点別評価は、指標達成の有無の他、その達成率も勘案して総合的に評価します。
目標値の設定がないものについても、進捗状況等を踏まえA～Cの三段階にて評価します。
事業達成度評価は、意図した活動により事業目的に合う成果がでているかを評価します。
（評価基準）（A:達成している B:おおむね達成している C:達成していない）

（1）事業達成度評価

区分	評価の観点	評価	評価理由・指標数値の推移
活動	・活動実績は、見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか。	A	市内金融機関の協力を得ながら、進めることができています。
成果	・意図した成果が上がっているか。 ・指標未達成の場合は、その原因を分析できているか。	A	3件の事業者の資金需要に応えることができた。これは、低利率のほか、利子や信用保証料などの支援措置が事業者ニーズをとらえたものと考えられる。
			評価者 商工振興係長 福島 敬

（2）事業効率性評価

事業効率性評価は、執行体制や手段など効率的に事務事業を執行しているかを評価します。
（評価基準）（A:効率的である B:高める余地あり C:効率的でない）

区分	評価の観点	評価	評価理由
効率性	・ICTの活用や業務改善が充分か。 ※検証必須 ・コスト面など効率的に執行できているか。 ・民間委託や他事業との統合・連携が可能か。	A	本事業は市内中小企業に対して、運転資金、設備投資のための低利融資をあっせんするもので、市内金融機関に預託金として無利子の資金を預け入れることにより実施している。また、市内商業団体を窓口とし、相談のワンストップ化が図られており、効率的に実施できている。
			評価者 商工振興係長 福島 敬

5. 前年度改善改革プラン達成状況

令和4年度の評価を受けて 設定した改善・改革案	本市の融資あっせん制度は、国県等の制度があった上の最後のセーフティネットとしての位置づけであるため継続をしていく。
達成状況及び その効果	令和5年度は3件の事業者の資金需要に応えることができた。引き続き、本市の融資制度を最後のセーフティネットとしての位置づけで継続をしていく。

6. 所属長評価（今後の方向性）

事務事業	中小企業融資あっせん事業	担当課	商工振興課	担当係	商工振興係	管理番号	37121
<div><div><div><input type="checkbox"/> ①拡充, 重点化(コスト投入)</div><div><input checked="" type="checkbox"/> ②現状のまま継続</div><div><input type="checkbox"/> ③見直して継続</div><div><input type="checkbox"/> ④目的達成による終了</div><div><input type="checkbox"/> ⑤廃止を検討</div></div><div><div><input type="checkbox"/> 委託化等の検討</div><div><input type="checkbox"/> 成果向上のための改善</div><div><input type="checkbox"/> 効率化のための改善</div><div><input type="checkbox"/> 事業規模の縮小</div><div><input type="checkbox"/> 他の事務事業と統合</div></div></div>		<div>評価の内容説明</div> <div>深谷市は融資あっせん制度を、国県等の制度があった上の最後のセーフティネットとして位置付けている。そのため他制度と無理な競争をすることなく今後も維持していくことに努める。</div>					
<div>上記を実施するための具体的な取組内容は？</div>		評価者	商工振興課長 茂木 隆行				

7. 改善改革プラン・今後の課題

令和6年度に実施する 改善・改革案 (事業目的・各指標の達成に必要な改善、業務の効率化を図るための改善)	
令和7年度以降に取り組む 改善・改革案・今後の課題 (事業目的・各指標の達成に必要な改善、業務の効率化を図るための改善)	

8. 評価指標グラフ

